

2. Canon Apolo、Kahinju、Kamengoの3校における清潔で安全な飲料水へのアクセスの強化（ウガンダ）

- 実施団体： RWENZORI AID（#109）
- 実施地： ウガンダ フォートポータル市ブク区キャノンアポロ地区他2カ所
- プロジェクト予算： 3,067ドル（JWFファンド1,500ドル、団体1,007ドル、受益者560ドル）
- 受益者数： 3,289人（男性55人、女性84人、子ども1,200人）
- 実施地の水問題：

ウガンダにおける清潔で安全な飲料水へのアクセスは、地域社会の主要な問題の一つである。多くの学校では、煮沸しなくても水を安全に飲めるようにするろ過装置がない。このプロジェクトは、西南部のフォートポータル市の自己水源がなく露出水源まで歩いて水を汲んでいるキャノン・アポロ・模範小学校へ10,000リットル水タンクを含む雨水貯留施設を設置する。同校と同市内のカヒンジュ及びカメンゴ小学校に2台ずつ、計6台のセラミックろ過装置を提供して、水系感染症のリスクを軽減して清潔で安全な飲料水へのアクセス確保としたい。



自己水源、雨樋がないキャノンアポロ小学校



校舎屋根による雨水貯留施設の設置例



ウガンダ国産セラミックろ過装置

- 主な活動内容： キャノンアポロ校への雨水貯留タンク1基と手洗い場1カ所の施設設置。
ろ過装置6台の調達、フォートポータル市内3校に2台ずつ設置する。
衛生クラブ、学校運営員会における維持管理研修の実施。
- 特長（持続性）： 学校による主体的な管理運営を支える料金徴収制度の導入、学校と共同体へのWASH施設継続運用に必要な研修等で支援する。
- 実施団体： 西ウガンダに拠点を置く非営利団体。2016年に設立。地域社会、学校、病院におけるWASH（給水・衛生・衛生管理）環境の改善プロジェクトを実施。国内・欧州・日本水フォーラム資金を活用して30,000人以上の支援実績あり。